



栄光愛児園にて



大井町 議会だより

議会の新体制 P 2
初の女性議長誕生！
第3回定例会 P 5
条例案や補正予算案を可決
一般質問 ここが聞きたい P14
4人が町政を問う！

町のこの人あの人 P16

防災用品を楽しみながら準備し
大井町の防災力を高めるのが私の夢！

上大井地区

かわづ よりみつ
河津 頼實 さん

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp

URL <https://town.oi.kanagawa.jp/site/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

スタート

の女性議長が誕生！



議長 伊藤 奈穂子

副議長選挙			議長選挙		
	鈴木 磯美	議員 …11票		伊藤奈穂子	議員 …11票
	無効票	…2票		大石 舞	議員 …1票
				無効票	…1票
(投票総数は、ともに13票)					

正副議長選挙の結果

10月2日に開催された新議員による初めての議会において、正副議長の選挙、常任委員会委員の選任、議会選出の監査委員の同意などが行われ、新たな議会がスタートしました。

正副議長就任の挨拶

町民の皆様には、日頃より議会の活動に対しまして格別のご理解とご協力を賜わり、心より御礼申しあげます。

私たちは、町議会議員選挙後の10月2日に開催された第3回臨時会において、議長、副議長に選出され、就任いたしました。身に余る光栄であると同時に責務の重さに身の引き締まる思いでございます。

近年の気候変動による大雨や台風等の災害対策、町民の皆様の日常生活に直結する物価高騰対策など取り組むべき課題は山積しております。議員ひとり一人が町民の声を聞き町政に反映させるよう、お互いに研鑽して参ります。

また、議員のなり手不足対策として町民の皆様に関われた議会、信頼される議会を目指し、映像配信や町民の皆様が気軽に参加できるような事業の実施に向け、議会改革を進めて参ります。

二元代表制の一翼を担う議会として執行機関と真摯な議論を重ね、町の発展と住民福祉の向上をめざし、町民の皆様のご期待にお応え出来るよう公正公平な議会運営に努めて参ります。

議員選出監査委員

まきの
牧野 一仁 かずひと



一部事務組合選出議員

足柄上衛生組合議会議員

伊藤 奈穂子

山崎 真弘

足柄東部清掃組合議会議員

伊藤 奈穂子

鈴木 磯美

岡田 幸二



副議長

鈴木 すすき

磯美 いそみ

新体制で

大井町議会で初めて

委員会の構成



委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
諸星	大石	和田	牧野	黒岩	岡田
光浩	舞	紀昭	一仁	陣太郎	幸二

企画経済常任委員会



委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
笠井	鈴木	鈴木	清水	重田	山崎
裕太	武夫	磯美	亜樹	有紀	真弘

教育福祉常任委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長
鈴木	黒岩	牧野	清水	諸星
武夫	陣太郎	一仁	亜樹	光浩

広聴分科会

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長
笠井	重田	和田	山崎	岡田	大石
裕太	有紀	昭弘	真二	幸二	舞

広報分科会

委員長 鈴木 磯美

広報広聴常任委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
黒岩	重田	山崎	岡田	和田	清水
陣太郎	有紀	真弘	幸二	昭弘	亜樹

議会運営委員会

1

かさ い ゆう た
笠井 裕太
(41)

上大井
国民民主党
当選1回



2

もろほし みつひろ
諸星 光浩
(63)

金手
無所属
当選3回



3

すず き たけ お
鈴木 武夫
(72)

市場
無所属
当選9回



4

おおいし まい
大石 舞
(39)

中屋敷
日本共産党
当選2回

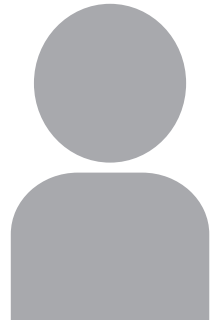


**New town
council
member**

2024.10.1 ~ 2028.9.30

議席
番号

氏 名
(年齢)
自 治 会
所 属
当選回数



5

くろいわじん た ろう
黒岩陣太郎
(44)

宮地
無所属
当選2回



6

しげ た ゆ き
重田 有紀
(46)

馬場
無所属
当選2回



7

わ だ のりあき
和田 紀昭
(48)

上大井
無所属
当選2回



8

やまざき まさひろ
山崎 真弘
(57)

河原
無所属
当選2回



9

おか だ こう じ
岡田 幸二
(67)

根岸下
無所属
当選2回



10

すず き いそ み
鈴木 磯美
(68)

柳
無所属
当選3回



11

まきの かずひと
牧野 一仁
(78)

河原
無所属
当選5回



12

し みず あ き
清水 亜樹
(52)

根岸下
無所属
当選4回



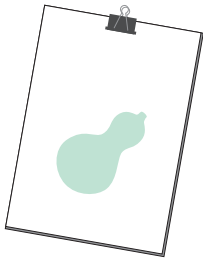
13

いとう な ほ こ
伊藤奈穂子
(58)

市場
公明党
当選4回



令和5年度決算を認定！



定例会初日には、代表監査委員である北村公男氏により、一般会計、特別会計、企業会計すべての会計で健全財政が堅持されている旨の監査報告が行われました。

会議内容	一般質問	条例	補正予算	契約	認定
	4人	1件	4件	1件	6件
					ほか

第3回定例会
8月20日～27日

令和5年度各会計の決算状況

(単位：万円)

区 分			歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	歳入歳出差引額
一 般 会 計			67億8,096	64億761	3億7,335
特別会計	国 民 健 康 保 険		14億9,925	14億8,020	1,905
	後 期 高 齢 者 医 療		2億8,083	2億7,712	371
	介 護 保 険		13億3,958	13億175	3,783
企業会計	水 道 事 業	収益の収支	3億2,888	2億5,479	7,409
		資本の収支	6,390	1億8382	△ 1億1,992
	下水道事業	収益の収支	5億1,936	4億7,784	4,152
		資本の収支	8,286	1億7,664	△ 9,378

*金額は端数を調整しています。

決算のあらまし

- 行政、事業者、地域が一体となって協働によるまちづくりを推進
- 災害に備え基盤整備を行うとともに地域公共交通ネットワークの形成を推進
- 子どもを取り巻く状況の変化をふまえた教育・保育の整備、充実
- 町の魅力を広く発信するとともに誘客や関係人口を創出

第6次総合計画の3年目 創意工夫を重ねて事業を推進

一般会計

組織管理

問 公用車の修理費が増加傾向にある。計画的に買い替えるべきではないか。

答 環境に配慮した車両への移行も視野に検討する。

問 公用車の運転中に事故をおこした職員への対応は。

答 注意・指導を行い、再発防止に努めている。



公用の電気自動車

行政運営

問 ふるさと納税の今後の展望は。

答 企業版ふるさと納税を設定したこともあり企業にもアプローチしていく。

問 財政力指数が下がっているが見解は。

答 大手法人の撤退により法人税が下がったが臨時財政対策債を借りることなど、後年度負担とのバランスを見て財政運営していく。

問 町としての対策は。

答 企業誘致は難しい。

移住定住による個人税を増やす努力をしている。

問 法人税割の内訳は。

答 登録法人191件で、4002万3千円のうち税率6%が156法人、7・2%が3法人、8・4%が32法人となっている。

問 三世代同居等移住定住促進補助金について拡充の考えは。

答 今後は新規だけではなく空き家の利活用に向けて補助金の再考を考えている。

問 お試し住宅の利用の内訳は。また今後の展望は。

答 16件38週の利用があった。今後、お試し住宅を増やす考えはない。

問 基金積立金が前年度より増えている理由は。

答 今後、大規模改修を控えているので余剰を積み立てている。

問 町税等の収納対策として預貯金調査システムを導入した効果は。

答 経費の削減と大幅な時間の短縮が図られた。

問 巡回バス運賃収入の減額要因は。

答 令和5年度よりシルバーパスを発行したためである。

問 巡回バスの今後の展望は。

答 松田町A-Iデマンド交通などのハイブリットで検討していく。

戸籍・協働

問 個人番号カードの未申請者に対し要因を調査しているか。

答 調査はしていないが、12月には保険証の新規発行ができなくなることから、窓口やチ

ラシ等で登録の促進に努めている。

問 自治会長の数や報酬を増やす検討は。

答 報酬は他市町を参考に検討する。数に関しては自治会に委任している。

問 自治会長のなり手不足に対する取り組みは。

答 自治会長間の交流を図るため、新たに意見交換会の開催を予定している。

問 町広報紙を全戸にポスティングする考えは。

答 自治会加入率への影響が懸念される。地域のつながりも考慮したなかで検討する。

健康・福祉

問 小田原市休日夜間急患診療所運営費負担金401万6千円の内訳は。

第3回定例会

答 2市8町の3年間の平均は135人。その中で大井町は3・6%の利用率による負担金となる。

問 母子保健事業の視覚検診において屈折検査を導入した効果は。

答 早期発見という点で効果が見られた。

問 児童コミュニティクラブ保育料の運営費に対する割合は適正か。

答 受益者負担を考慮すると、現状の保育料は適正と考える。

問 妊婦子育てタクシー利用費助成金の周知方法は。

答 母子手帳を渡す際、紙ベースで一覧にして案内しているほか、ホームページ等も利用し周知している。

問 タクシーチケットは検討しているか。

答 現状は償還払いであるが、今後の課題と

考えている。

問 行旅死亡人等取扱関係費の増額要因は。

答 令和5年度は2件、身元引受人がいらない、または拒否により要した経費。全額ではないが回収もしている。

問 広域病児保育事業負担金の利用者数は。

答 17名の利用がある。減額の理由は。

問 人口割、実績割の割合変更があったため。

生活・経済

問 観光施設用地賃料の78万7500円が収入未済額になつてい

答 納付は年間2期に分けたが、2期目の時に事故があり、会計処理期間内に間に合わなかった。現在は収入済みとなっている。

問 郷土資料館賃貸料

が計上されていない理由は。

答 年度末の請求を失念していた。現在は収入済みであり、今後、令和6年度の補正で対応する。

問 担当課に対し人員の確保や体制整備が必要では。

答 現在の体制で、しっかりと取り組んでいく。

問 無人航空機操縦士技能資格講習会受講料について、ドローンは有効活用されているか。

答 被害対策として一回利用した。今後は有効活用するために操縦に慣れるよう練習していきたい。

問 財産に関する調書

答 において、あしらが勤労者いこいの村への出資による権利が残されているが、その理由は。清算法人が解散されてい

ないためである。

問 プレミアム商品券の金額の根拠と成果は。

答 プレミアム分は、2000万円、その他事務費に充当した。効果は小売店で31・7%の利用があった。

問 里山再生整備委託料の内容は。

答 おおひゆめの里のナラ枯れにより、259本の伐採を行った。

問 毎年開催とした環境展の展望は。

答 事業内容を検討しながら、意識啓発を進めていく。



プレミアム付すいっぴー商品券の引き換え

問 広域新可燃ごみ処理施設整備事業費補助金の対象期間は。

答 3年間補助される予定。

問 補助額の根拠は。

答 調査内容が審査され支給される。

問 電気自動車等購入費補助金の申請方法に課題が見受けられるが。

答 認識はしている。見直しに向け、要綱を検討していく。

社会基盤・安全対策

問 木造住宅の耐震診断と耐震改修工事の促進策は。

答 補助制度の見直しを進める。

問 ブロック塀等撤去費補助金の対象件数と実績は。

答 170件対象で実績4件である。

問 調査はどのように行っているか。

答 通学路を優先的に高さ60センチ以上のブロック塀を対象に調査を委託している。

問 指定避難所看板設置工事の内容は。

答 国指定に基づいた災害別のピクトグラムを表示した看板に付け替えた。

問 防災対策備品等整備事業費の内訳は。

答 災害用毛布400枚について、10年以上経過しているため、点検・洗浄及び真空パックを兼ねたりバックを行なった。

問 自主防災組織における資機材の充実が図られるべきと考えるが、防災に対する知識を深めてもらい、必要な資機材の配備が図られるよう取り組む。

問 地域学校協働活動推進員の活動人数と活動内容は、
答 各小学校1名ずつ、中学校2名の計5名。学校と地域の調整役をお願いしている。

問 自転車用ヘルメット購入費の実績は予算に対して1割にも満たない。今後も継続する考えは。
答 1年間という事業であり継続する考えはない。

問 消防団の準中型免許取得補助の申請は無かったのか。
答 令和5年度の申請はなかったが令和6年度は2件の申請があった。

問 育英奨学金貸付返還金の利用人数と貸付残額は。
答 利用人数は19名。貸付残高は1158万円である。

問 幼稚園バスの置き去り防止安全装置の設置台数と運用状況は。
答 3台すべてに設置。運転日報を通じて、正しく運用していることを確認している。

教育・文化

問 学校運営協議会委員報償費は昨日の条例改正により報酬費として支出することになるが、令和6年度の予算上の措置はどうなるのか。
答 改めて例規の整理をしたので、令和6年度の歳出については今後補正により報酬として支出する。

問 幼稚園の超過勤務の内訳は。
答 休日に業者対応のため、1時間半の1人分。
問 相和小学校の防草シートは116万円かけて設置したが、その後の管理は。
答 学校が対応していく。状況に応じ今後、防草シートの張り替えなどで対応する。

問 総合体育館のトレーニング器具賃借料の減額理由は。
答 現状でも使用に耐えられる状態であることから、再リースとしたためである。
問 給食の残渣を堆肥化するなど、環境に配慮した処理方法を見直す考えは。
答 今後、調査研究していく。

決算審査特別委員会で分野別に審査



令和5年度決算審査に際しては、本会議における議長発議により特別委員会が設置された。企画経済・教育福祉常任委員会よりそれぞれ4人を選出し、合計8人の委員会が組織され、8月22日に詳細な審査を行い、また、今回の審査においては、付託された一般会計について、施策を「組織管理」「行政運営」「戸籍・協働」「健康・福祉」「生活・経済」「社会基盤・安全対策」「教育・文化」の7部門に分けて審査を行いました。

各分野にわたり、延べ50人の委員からの活発なる質疑がなされ、採決の結果、賛成多数により原案のとおり認定すべきものと決定しました。

委員長	牧野 一仁
副委員長	鈴木 磯美
委員	伊藤奈穂子
委員	清水 亜樹
委員	岡田 幸二
委員	重田 有紀
委員	黒岩陣太郎
委員	大石 舞

特別会計・企業会計

国民健康保険

問 保険税の収納状況は。

答 現年分が、96・49%で過去最高の収納率となった。

問 不能欠損処分の内訳は。

答 人数は合計84名である。内訳は転出20名、死亡・所在不明44名、生活保護6名、他の保険移行4名、処分財産不明10名である。

問 所在不明の割合が多い理由は。

答 届出を出さずに転出した場合、追跡が出来ないため。

問 今後の滞納対策は。
答 令和5年度から訪問回数を4回に増やし、また預貯金調査システムも活用した。引き続き

き取り組んでいく。

問 経済的な理由で払えない場合の対応は。

答 被保険者からの相談を受け、分納などの対応も行っている。

問 今年10月からの社会保険適用拡大により、被保険者が減少すると思われるが。

答 令和6年度末には、3300人を割ると予想され、今後の予算策定に留意が必要である。

問 特定健康診査の受診率3割は適正か。

答 下降気味であり、未受診者への受診勧奨が課題である。

問 出産育児一時金の内訳は。

答 50万円が10件、48万8千円が3件、計13件である。

問 被保険者の移送費はどのような時に支払われるのか。また、制

度の周知方法は。

答 病院から他の病院などへ移送される際に支払う。周知方法は、他自治体を参考に研究していく。

後期高齢者医療

問 収入未済額の内訳と増額要因は。

答 9名分で滞納繰越分2名、現年度分7名である。増額は被保険者数の上昇が背景にある。

問 特別徴収と普通徴収の内訳は。

答 特別徴収は、2239名で72・9%、普通徴収は832名で27・1%である。

問 コンビニ等収納取扱手数料2万6324円は何件分の手数料か。

答 420件分である。
問 コンビニ収納は今後どのように推移していくのか。

答 同等程度で推移していくと思われる。

介護保険

問 居宅介護サービス費の増額要因は。

答 令和4年度に比べて40名ほど増えているため。なかでも訪問介護が20名ほど増えている。

問 特定施設入居者生活介護の対象施設は本町に何施設あるのか。

答 本町には3施設ある。

問 足柄上地区介護認定審査会負担金の増額要因は。

答 実績割が15・38%と増えたこと、また、システム改修費用が増えたことが要因である。

問 介護認定の更新と新規の割合が負担金の額に影響するのか。

答 審査会の負担金には影響しない。



おい！元気会

問 おい！元気会運営サポーターの構成状況は。

答 65歳以上が13名、65歳未満が10名、さくら会15名、計38名である。

問 担い手不足や謝礼などの課題はどう考えているか。

答 引き続きボランティアポイントを活用するなどにより支援していく。

問 地域ケア会議の構

成メンバーは。

答 足柄上保健福祉事務所や地域包括支援センターの職員、民生委員、ケマネージャー等で構成されている。

水道事業

問 物価高騰対策支援に係る一般会計からの収入はどこに含まれているか。

答 営業外収益の他会計補助金に含まれている。

問 管路更新率が0・27%で低く感じるが、今後の計画は。

答 当該年度は更新が少なかった。今後、料金の値上げをした際には管路の整備に充てる。

公共下水道事業

問 企業債の利息が昨年より上がっているが要因は。

答 金利は、政策の見直しにより上がったものと考え。

問 現状も他会計補助金に頼った運営に見受

けられるが今後の展望は。
答 令和2年度から企業会計に移行したなかで、料金改定についても検討が必要である。今後の下水道運営審議会の答申をもって対応する。

問 管路の老朽化率は0%だが、今後の予定は。

答 現状でも管路調査を行っているが、不明水の流入が多くなれば、それを優先して修繕していく。



第2浄水場

決算認定に際し、8月14日に現地視察を実施



令和5年度
事業を確認



議員討論

令和5年度一般会計決算については、本会議で大石議員の反対討論、山崎議員の賛成討論がありました。

反対討論

大石 舞

町は町民福祉の向上に注力を

自治体の本来の役割は、町民福祉の向上である。町民から納められた税金を、町民の暮らしを支えるためにどう使うか考え、実行することにこそ、自治体は注力すべきだ。

そのためには、住民一人ひとりに寄り添えるような職場環境であるのか等、検証が必要だ。質疑では、幼稚園職員の超過勤務手当が、休日1日分の5,185円しか計上されていないと指摘があった。予算15万円に対して、明らかに不自然である。職員が「ここで働きたい」と思える労働環境になっているのか、検証していただきたい。

令和5年度の予算は、物価や燃料の高騰が続く厳しい社会情勢の中で計上された。しかし決算において実質収支額は3億6,898万6千円であり、財政調整基金の決算年度末残高は14億9447万7千円である。町として課題となっている施策を拡充する財源は、十分にあったと考える。

例えば児童コミュニティの利用料は、物価高の今、これだけの値上げをすることは適切か。老人福祉費の決算額は予算額よりさらに下がった。妊婦タクシー制度は、補助金額等見直すべきだ。福祉タクシー利用・燃料費助成は、予算より40万円以上減の決算額であり、見直しが必要だ。今後の改善を期待する。

賛成討論

山崎真弘

適切な事業運営を評価

令和5年度は、第6次総合計画「つなごう！大井未来計画」の3年目でもあり、着実に施策を展開し、事業内容の精査を行ない推進してきた年度であった。

歳入においては、町民税、固定資産税等が増収となり、財政の健全化判断比率、将来負担比率についても健全な状況であり、次世代に負担を残さず、町政運営を行っていることを示しており、十分に評価できるものである。

歳出においては、「大井町戦略事業」である「協働プロジェクト推進」においては、広報紙やホームページ、SNSを活用し行政情報等を積極的に発信してきた点、「持続可能な生活環境の整備」においては、地震や風水害に備えた基盤整備等。「教育・子育て環境の充実」においては、学校給食では物価上昇分の補助、児童コミュニティークラブの土曜日開所等。「地域特性を活かした産業の創出と魅力の発信」においては、交流体験事業等の推進により、町の魅力を広く発信し誘客や関係人口の創出につながったこと等。4つの戦略事業についても評価できるものである。物価高騰による社会経済情勢の変化もあるが、ひとつひとつ事業を確実に実施し、見直しも踏まえて、着実に推進することによって今まで以上に活性化した町づくりが展開されることを期待する。

議会では、大井町議会基本条例に基づき、開かれた議会、町民のみなさまとともに歩む議会を目指して、令和6年6月18日から20日までの間、生涯学習センターホールにて「ぎかいCafe」と称して、議会報告会・意見交換会を開催しました。頂戴した貴重なご意見は、9月14日に議長、議会運営委員会委員長及び広報広聴常任委員会正副委員長より町長へお伝えしました。

「ぎかいCafe」での意見を町長へ



条 例

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基つき、学校運営協議会規則との整合性を図るため所要の改正をするもの

問 報酬が適用される会議は、年に何回想定されており、今年度はどの程度の出席を見込んでいるのか。
答 年2回予定している。

補正予算

一般会計(第6号)

(賛成全員)

*歳入では、普通交付税の交付決定額や各種補助金等の決定額、令和5年度決算に伴う繰越金の確定額等を計上し、歳出では、新型コロナウイルス定期接種ワクチンの価格見直しに係る経費等を計上するもの

問 予防接種事業費の内訳は。

答 10月からコロナワクチンの定期接種分で、2570人分である。

問 接種に係る個人負担額、期間、対象者は。

答 個人負担額は2千円で、期間は10月から2月末まで、対象者は65歳以上の方と基礎疾患のある方である。

問 周知はいつ頃、どのようにされるのか。

答 ホームページや広報紙で行う予定である。

問 地方債は、2件で1億2千700万円を取りやめたが、どのような事業に使う予定だったのか。

答 町道501号線の工事9千700万円、臨時財政対策債で3千万円を予定していた。

問 起債を取りやめた要因は。

答 地方交付税が予想以上に入ってきたことや、事業の執行状況を加味したもので、起債をして後年度負担するよりも、取りやめた方が良いと判断した。

問 教育振興事業費のバス借り上げ料3万5千円の内容は。

答 11月19日に予定している特別支援教育部の会の交流会に際し、町内の児童生徒が相和小学校に集まるための費用である。

問 交流会への地域等からの参加は。

答 一般の方は参加できない。

問 GIGAスクール構想事業費において、対象の学校と作業内容は。

答 1人1台端末の更新を迎えるにあたり、ネットワーク整備計画を策定するため、通信速度を調査する。大井小学校と湘光中学校2校の予定である。

問 総合体育館改修工事設計技術支援委託料と、アスベスト調査委託料の内容は。

答 技術支援委託料は、設計内容や工事スケジュール等を、第三者機関が精査するもの。アスベスト調査は、設計業者以外の業者に調査を委託するものである。

問 当初予算で見込むべきでは。

答 来年度予算の計上金額をより精査するため、今回計上した。

人 事

大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること
(賛成全員)

(賛成全員)

*大井町教育委員会委員の小島茂子氏は、令和6年10月5日をもって任期満了となるため、その後任を任命するもの

高橋 美恵子 氏
(新任 市場)

工事請負契約の締結

第一分団待機宿舍建設工事
(賛成全員)

*第1分団待機宿舍建設工事について、度重なる入札不調のため、地方自治法の規定により随意契約を締結するため提案するもの

問 既存の植栽を残す意味はあるのか。安全上、撤去すべきでは。

答 予算の都合もあり、残しても問題が無いと判断した。

問 国道255号や歩道側から、敷地内へ水が流入しないか。

答 敷地内にマスが6つあり、水が流れ込む構造である。町道側にも流れるので、建物には影響がないと考える。

問 工期が2か月延びたことによる影響額は。

答 待機宿舍の借り上げ料10万6千円である。



第1分団待機宿舍

第3回臨時会・審議議案と結果

第3回臨時会 10月2日

会議内容	選挙人事	専決処分
4件	2件	1件
	ほか	

専決処分の承認

専決処分の承認について（令和6年度大井町一般会計補正予算（第7号））（賛成全員）

*台風10号による土砂被害への復旧等に係る経費等を計上するもの

問 復旧に係る受益者の負担額は。

答 農地の被害状況に応じて決定する。

問 町単独の補助事業の周知方法は。

答 専決処分により、既に9月15日の広報とともに周知を行っている。個別にも対応を図っている。

人事

大井町監査委員の選任について同意を求めること（地方自治法第196条第1項の規定による「識見を有する者」）（賛成全員）

*北村公男氏の任期満了により、新たに選任するもの

井上卓司氏
(新任 西大井)



審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対 除は除斥 第3回定例会：田村俊二議長は、採決に加わりません。
第3回臨時会：伊藤奈穂子議長は、採決に加わりません。

臨時会の別	議案番号	議案名	議員名（議席順）と審議結果	大石舞	黒岩陣太郎	重田有紀	和田紀昭	山崎真弘	岡田幸二	鈴木磯美	田中正彦	牧野一仁	清水亜樹	伊藤奈穂子	清水豊司	審議結果
第3回定例会	54	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	55	専決処分の承認について（令和6年度大井町一般会計補正予算（第5号））		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	56	令和6年度大井町一般会計補正予算（第6号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	57	令和6年度大井町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	58	令和6年度大井町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	59	令和6年度大井町介護保険特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	60	大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	61	工事請負契約の締結について（第1分団待機宿舍建設工事）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	認定1	決算認定について（令和5年度大井町一般会計）		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定2	決算認定について（令和5年度大井町国民健康保険特別会計）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定3	決算認定について（令和5年度大井町後期高齢者医療特別会計）		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定4	決算認定について（令和5年度大井町介護保険特別会計）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定5	利益の処分及び決算認定について（令和5年度大井町水道事業会計）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定6	利益の処分及び決算認定について（令和5年度大井町公共下水道事業会計）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第3回臨時会	62	専決処分の承認について（令和6年度大井町一般会計補正予算（第7号））		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	63	大井町監査委員の選任について同意を求めること（地方自治法第196条第1項の規定による「議員」）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	同意
	64	大井町監査委員の選任について同意を求めること（地方自治法第196条第1項の規定による「識見を有するもの」）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

町における相和小学校の価値は

答 地域防災の拠点、

地域と子どもが触れ合う
コミュニティの場としても重要



おおいし まい
大石 舞 議員

問 教育活動の適正人数は学術的にも非常に難しい議論で、答えが出ていない。現状の人数での教育活動を、どう評価しているか。

教育長 適正規模は難しく、文科省も「地域の実情を踏まえ」と示しており、教育委員会も現状把握している。

問 その時々状況により、適正な教育活動が行われていると受け止めていられて安心した。子どもの数が少なくなったから閉校と、

数の議論に終始せず、教育的な側面からの検証が必要だと考える。相和小学校の教育的価値について、先生方への聞き取り等必要では。

教育長 状況によって、そのような場も適宜判断し、対応する。

問 小規模特認校の目的は、学校を選択すること、子どもが主体的に学べる環境を整備することである。相和小学校ならではの教育課程はどのようなもので、子どもたちの評価



相和小学校のあり方、4年後に再び議論が

をどう捉えているか。

教育長 全校的な異年齢集団でグループ活動を行っており、子どもたちの心の醸成にもつながっている。

問 小中学校で使えるスクールバス導入は。

課長 近隣のケースを研究し、検討する。

「中学校における2025年修学旅行について」

問 町として、国からの大阪万博活用文書を学校に示したのなら、爆発事故や安全対策の情報提供等が必要では。

課長 学校には伝えていきたい。

学校と保護者間の

連絡手段のデジタル化は

答 その推進に向けて取り組む



しげた ゆき
重田 有紀 議員

問 小中学校と保護者間の連絡ツールは。

教育長 チェックインシステムを学校から保護者への連絡のみ使用で行うべきでは。

問 保護者からの発信は。

課長 できない。

問 お知らせの添付ファイル送信を試行するのか。

教育長 幼稚園が9月から。

問 添付ファイル機能は有料では。

課長 試行1年間は無料で使用できる。

問 チェックインシステム所管は防災安全課、学校現場のデジタル化推進は教育総務課独自で行うべきでは。

教育長 選択肢の一つではある。

問 チェックインシステムのアカウント数は増やせるのか。

課長 可能である。

問 PTAにアカウントを付与しお知らせ配布のデジタル化等を提案しては。

課長 まずは学校との協議から。

学校業務のデジタル化で先生の働き方改革推進を



問 学校協働活動推進委員と保護者、町民の連絡手段に個人アカウントを使用しているようだが。

課長 以前より課題として認識している。

問 学校の集金を現金徴収することは。

課長 ある。

問 現金紛失等が起きた際の責任の所在は。

課長 ケースバイケース。

問 現金紛失等へ対応する保険への加入は。

課長 していない。

問 集金業務デジタル化に対する学校からの要望は。

教育長 事故も起こりうるため、以前より課題として認識している。

熱中症対策として クーリングシエルトの設置は

答 8月現在で

5か所を指定している



伊藤奈穂子 議員

発令されなくても涼をとれるようクールスポットを設置する考えは。

課長 研究したい。

問 生涯学習センターの会議室の活用は。

課長 会議室は貸館施設であり難しい。1階ホワイエでは常時涼めるようになっていく。

【ゴミ置き場に防犯カメラの設置は】

問 大井町ゴミ収集場所設置事業補助金の活用ができないか。

課長 広い意味で捉えれば可能性はあると考えるが慎重に検討したい。



ひょうたん祭で開設されたクーリングシエルト

大井町観光振興基本計画の 方向性は

答 観光の拠点作りを実施し、

マーケティング力の強化とDX
推進で観光を稼げる産業に育成



田中 正彦 議員

問 国の方針でもあり、地域産業の活性化策となる観光事業を稼げる産業化へ実現する具体策は。

町長 官民連携で

町長 デジタル化で得

いゆめの里周辺を観光の拠点化とし、農業体験など体験観光事業を基軸とした民泊環境の充実化を進め、新しいコンテンツの導入で観光客の滞在期間延伸による消費額の拡大、併せ、特産品や土産品の充実化を図って行く。観光事業積年の課題は。計画の精緻化を図って行く。

問 おおいゆめの里周辺を観光の拠点化に係る一つの重要な要素として考える中、農産物直売所が抱える問題点の認識と改装についての考えは。

町長 組合員の高齢化と減少で納品量が減少し売上低迷をきたしている。対応策として新規就農者や青年就農者の加入促進を図り、加入状況を見ながら、販売スペースの確保や販売促進に繋がる環境を整えるべく直売所内部の改装を検討したい。



四季の里直売所の
売場風景

町のこの人あの人

防災用品を楽しみながら準備し
大井町の防災力を高めるのが私の夢！



上大井地区
かわづ よりみつ 河津 頼實 さん

町の発明爺さんと言われて8年。大井町防災まちづくりの会で活躍する河津頼實さんを紹介します。

●大井町に住んで来年で40年、傘寿を迎える年となりました。定年後も会社で働いていた河津さんは、9年前会社を退職した際に大病をしましたが、持ち前の気力で体力は回復。この授かった命を地震で落としたくないと思うようになり、防災まちづくりの会に入会以降、防災用品に関する数々の発明をしてきま

した。

●防災まちづくりの会は2009年に発足。地震の多い県西地域で、町民に災害に対する備えの必要性を認識してもらうことで、命を大切にし、減災に繋がる活動を展開している団体です。

●当時の河津家では防災に関しての準備は、ほぼゼロと言っていいほどで、準備するにも年金生活で資金も少ない。そこで会社での設備担当の経験を活かし、豊かな発想のもと市販品に頼らない安価で良いものを自分で考案す



ソーラークッカーの実演

るようになりました。●発明品は、テレビで紹介された「防災ティッシュBOX」ははじめ数々。中でも「非常食収納BOX兼ソーラークッカー」は新聞でも紹介され、紙器会社と共同開発で商品化されています。災害時以外でも太陽光を利用した料理は、環境に優しいSDGsとして貢献しています。

●これらの防災用品は町のイベント等で展示・実演しています。大井町の防災力を高めると同時に若い人も楽しんでもらうことで、防災まちづくりの会の仲間が増えればと話されています。

議会だよりへの意見募集

大井町議会では、町政及び議会の情報を皆様にお伝えするため、「議会だより」を年4回発行しております。より分かりやすい広報誌となるよう、町民の皆様の声をお聞かせください。応募は、電子メール (gikai@town.oi.kanagawa.jp)、郵送、持参、FAXのいずれかでお願ひします。様式は任意で結構です。

町政を知る良い機会です
議会傍聴にお越しください！

第4回定例会開催
12月5日 (木) 午前9時
問合せ先：議会事務局
☎ 85-5000 FAX 83-3936



新たな広報分科会メンバー

●編集後記
今定例会では、令和5年度の決算が本会議及び特別委員会と審議され認定されました。その後、9月8日に執行された町議会議員選挙では、13の議席が確定しました。20年ぶりの無投票となりましたが、結果を真摯に受け止め、議員一同町民の皆様へ信頼され付託に応えられる議会・議員を目指します。

鈴木 磯美